

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用



栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

農事組合法人 西里ファーム（山形県西村山郡河北町）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲60ha、大豆18ha

従業員数：9名

<対象品目>

水稲、大豆

<計画の実施期間>

5年間

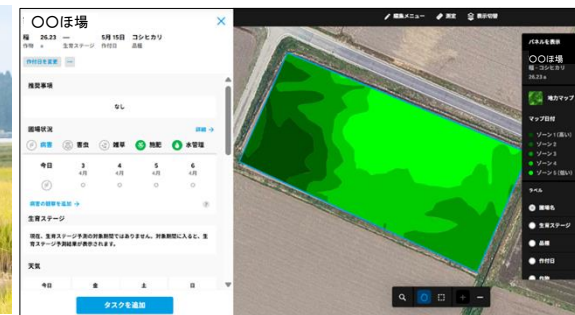
<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



西里ファームの皆様



栽培管理システム
(ガルビオフィールドマネージャー)

～認定を受けて一言～

老朽化により農業機械の更新が必要となり、折角更新するのであれば最新技術を活用できるような生産体系に変えていきたいと考えました。

当社では若手への Batonタッチを進めているところであり、経験豊富な先輩方の教を基盤に、最新技術の導入により、若手ならではの強みを活かしていきたいです。